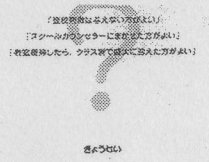
7/20 教育新聞の書評です。



だけではりっぱなことばをもただの音／ことばのとおりに行うとき／ことばのとおりに生きる時／あなたはほんとにあなたになれる／私はほんとの私になれる」（ことば出そうとしているときのとう、月光を映し出す海など心が開放される気分。折に触れてかみしめたいことばたち。勇気づけてくれる。

校成出版社／1050円

期対応はもっと慎うこと、情報を丁めることなどを助いる。

、家庭における対て学校に行きたがなった場合、原因する中で親がわが関係をもう一度見して成功した例、追うことにとらわて失敗した例を挙因探しにこだわりに子どもを信じてとも大事であると

る。

書ではまず、「学校こ「家庭編」に分け校対策の成功例とがそれぞれ場面設して記されているの体的でわかりやすくらに、どう対応したらよいのかのポも様々な子どもをに書かれているので

になる。

校の指標は欠席3り、初期対応が非要であるという。

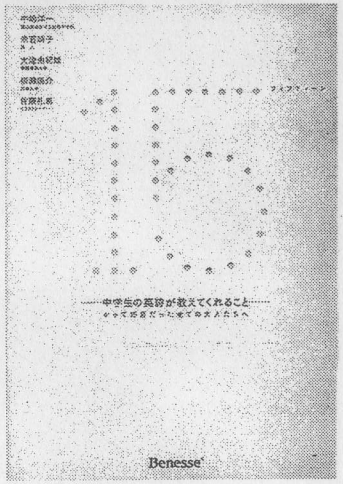
、その時に学校や対応に失敗してし、本人をより一層ることになる。本人への登校刺激を行っていくために配しておきたい。

ようせい／2199

心をこめて言葉を使う

15 ―中学生の英詩が教えてくれること―

中嶋洋一ほか 共著



「Math question are easy/Exams are easy, too/They don't trouble me./But I have one problem./It is love./Love is very difficult.(略)」(Love)「数式なんてかんたん／テストだってむずかしくない／難問はさ／愛ってやつだ」(それが問題)

本書は15歳の子どもたちによる英語の詩を中心に作られたもの。

「The world has many hungry children./Babies near death./Yet in the same world I'm happy./Why are we different?(略)」「今、世界のどこかで／子どもたちが飢えている／たくさんの幼い生命が消えかけている／そして同じ時 同じ世界の中で／今ここに満ち足りたわたしがいる／なぜ こんなにも違う?」(わたしたちの世界)

著者の1人、富山県砺波市立出町中学校の中嶋洋一教頭は、本書で取り上げている英詩は、自らが取り組んできた英語の卒業文集から選び、「詩に取り組み始めてから生徒たちは吹っ切れた」と述べ、詩を作ることで英語を生きた言葉ととらえるようになったという。

また、本書に中学時代の詩が取り上げられた現在は大学生の松田真理子さんは「授業を通して私は二つの世界に出会った。英語ということばの世界と、文字通り地球全体という意味の世界」だとし中学時代の中嶋教諭の授業に出会ったのが自らの出発点としている。

現在、小学校での英語活動が注目されたり、幼児向けの英語学習塾が盛んだったりするが、言葉はコミュニケーションの道具である半面、生きものであることを前提にしないと子どもたちの中に根づいていかないだろう。本書は、「心を込めて言葉を使う」ことを第一としてつくられており、読み応えがある。

ベネッセコーポレーション／1575円

テーマ別良書検索 日本語の本・4

■擬音語擬態語使い方辞典―正しい意味と用法がすぐわかる■
阿刀田稔子、星野和子著、2650円、創拓社

日本語の擬音語・擬態語1700語を収録した辞典。見出し語数738語。語の用法を文型で表し、主語や述語との連結を明確にする。見出し語にはアクセント付き。例文多数掲載。巻末に総索引、逆引き索引がある。

■間違うと恥をかく日本語小辞典―勘違い・誤用・早トチリ…間違いやすい言葉の正しい使い方■
成清良孝著、945円、日本文芸社

本書では間違いやすい言葉をその間違いの種類によって5つに分類し、それぞれ解説を加えた。総数で1000語ほどが収録されている。

■外国人から見た日本語―正しい日本語が分りやすい 日本語ライブラリー■
松井嘉和著、1733円、日本教文社

日本語学習者は年々増加しているが、その一方で「日本語はむずかしい」という思い込みは根強い。果たして日本語は本当に「むずかしい」のか？

■わかりやすくて正しい「文章」の書き方―ビジネスマンのための■
梶文彦著、1470円、かんき出版

よいビジネス文章の条件は、必要な情報が盛り込まれていること、情報が理解しやすく伝えられていること、簡潔にまとめられていること。これらの必要な要素が盛り込まれたビジネス文書を書くための具体的なノウハウを紹介する。

■そんな言葉づかいでは恥をかく〈2〉―日本語、正しいつもりが間違いだらけ KAWADE 夢文庫■
日本語倶楽部編、500円、河出書房新社

大恥をかき、礼を欠き、怒りや失笑を買う間違い言葉やウソ言葉。あなたの言葉づかいは大丈夫？ いま大人気の日本語ハウツー本。

■その日本語は間違いです―正しい言葉の使い方 日経ビジネス人文庫■
神辺四郎著、730円、日本経済新聞社

「汚名を挽回する」「暇に任せて」

――。正しいと
は誤用。陰でに
決まり文句から
き間違いまで、
ジネス人合格。
クできる○×表

■いつも迷って
万人調査「どっ
社 SOPHIA BOOK
加納喜光著、18
「博」には点
「講議」か、「
一万通の読者
た、書くときに
字を集計、体系